

東京都歯科保健目標「いい歯東京」の達成状況について

達成状況のまとめ

「虫歯のない者の割合（3歳）」は87.4%、「一人平均歯数（12歳）」は0.93歯、「24歯以上有する者の割合（60歳）」は70.0%、「8020を達成している都民の割合（80歳）」54.7%となり、口腔内の状況はすべての年齢層で向上し、目標を達成した。

一方、歯・口の状況についてほぼ満足している者の割合（80歳）の割合は目標値に達しなかったが、歯や口腔の満足度のうち「噛む、味わう、飲み込む、話すことに不自由がない者」は増加したことから、口腔機能に関する満足度は向上していることがうかがえる。

全体目標の達成状況

全体目標のうち、80歳で自分の歯を20本以上持つ者の割合（8020達成者）は54.7%であり、目標の「50%以上（基準値：39.8%）」を達成した。また、前回調査（平成21年度）より先14.9ポイント増加した。

一方、歯・口の状況についてほぼ満足している者の割合（80歳以上）は54.8%であり、目標の「増やす（基準値：57.9%）」は達成できなかった。8020を知っている都民の割合（20歳以上）は57.1%であり、目標の「増やす（基準値：57.6%）」は達成できなかった。

個別目標の達成状況

それぞれのライフステージにおける口腔内の状況については、目標を達成した。特に、60歳で自分の歯を24本以上持つ者の割合は前回調査より先6.6ポイント増加し、8020達成者の割合の結果と合わせ、高齢者の口腔内の状況は向上した。

一方、それぞれのライフステージにおける都民の知識と行動の目標については、目標を達成した項目が半数に満たなかった。

歯科保健目標「いい歯東京」の達成状況

事項		基準値 ¹	目標	現状値 ²	出典	
全体目標	歯と口腔の満足度の向上	歯・口の状態についてほぼ満足している者の割合(80歳以上)	57.9%	増やす	54.8%	歯科診療所患者調査
	「8020運動の推進」	8020を知っている都民の割合(20歳以上)	57.6%	増やす	57.1%	
		8020を達成している都民の割合(80歳)	39.8%	50%以上	54.7%	
個別目標	乳幼児期	う蝕のない者の割合(3歳)	83.8%	85.0%	87.4%	3歳児歯科健康診査実績(H25)
		フッ化物配合歯磨剤を使用している者の割合(3歳)	55.3%	70%以上	66.8%	乳幼児・学齢期の歯科保健行動に関する調査
		甘味飲料をほぼ毎日飲む者の割合(3歳)	27.8%	20%以下	26.0%	
		週に1回以上、子供の歯と口腔を観察している保護者の割合(3歳)	81.3%	90%以上	81.2%	
		かかりつけ歯科医を持つ者の割合(3歳)	45.0%	60%以上	48.5%	
	学齢期	一人平均歯数(12歳)	1.3歯	1歯以下	0.93歯	東京都の学校保健統計(H25)
		歯肉に炎症所見のある者の割合(12歳)	17.6%	減らす	17.3%	乳幼児・学齢期の歯科保健行動に関する調査
		ほぼ毎日、1本ずつ丁寧に歯を磨く者の割合(12歳)	47.4%	増やす	53.1%	
		かかりつけ歯科医を持つ者の割合(12歳)	59.7%	90%以上	57.6%	
		ゆっくりよく噛んで食べるようにする者の割合(9歳)	59.8%	増やす	59.3%	
	成人期	進行した歯周病に罹っている者の割合【CPIコード3以上の者の割合】(40歳・35～44歳)	20.1%	18%以下	19.3%	歯科診療所患者調査
		24歯以上有する者の割合(60歳・55～64歳)	63.4%	70%以上	70.0%	
		8020を知っている者の割合(20歳以上)	57.6%	増やす	57.1%	
		糖尿病・喫煙が歯周病のリスクであることを知っている者の割合(20歳以上)	糖尿病 42.3%	増やす	49.7%	
			喫煙 54.4%	増やす	54.2%	
		週に1回以上、フロスや歯間ブラシを使用している者の割合(40歳・35～44歳)	62.3%	80%以上	62.0%	
かかりつけ歯科医で定期健診又は予防処置を受けている者の割合(40歳・35～44歳)		59.6%	70%以上	71.9%		
高齢期	歯・口の状態についてほぼ満足している者の割合(80歳以上)	57.9%	増やす	54.8%	介護保険施設等における口腔ケア実態状況調査	
	8020の達成者の割合(80歳)	39.8%	50%以上	54.7%		
	口腔ケアが誤嚥性肺炎を予防することを知っている割合(20歳以上の都民・すべての職員が知っている介護保険施設) <small>H26は、「ほとんどの職員」が知っている</small>	都民 31.6%	増やす	38.5%		
		施設 46.5%	増やす	76.0%		
	よく噛む(一口30回程度)ようにしている者の割合(65歳・60～69歳)	41.4%	増やす	38.8%		歯科診療所患者調査
在宅療養者の摂食・嚥下障害に関して、医師・歯科医師等と連携している訪問看護ステーションの割合	67.0%	増やす	72.5%	介護保険施設等における口腔ケア実態状況調査		

1 基準値は、21年度の調査結果

2 現状値は、26年度の調査結果または25年度実績

かかりつけ歯科医による支援・区市町村による健康づくりの状況

		基準値 ¹	現状値 ²	出典
かかりつけ歯科医による支援	子供家庭支援センター等と連携・相談し「気になる親子」を支援する歯科医師の割合	12.6%	13.2%	かかりつけ歯科医機能推進に関するアンケート調査
	フッ化物応用を推進する歯科医師の割合	89.3%	90.1%	
	禁煙支援を行う歯科医師の割合	72.9%	77.1%	
	糖尿病患者の主治医と連携して治療する歯科医師の割合	16.0%	20.9%	
	在宅療養者の摂食・嚥下障害に対応可能な歯科医師の割合	22.0%	31.0%	
	在宅療養支援歯科診療所届出数	269	478	関東信越厚生局届出受理医療機関名簿(H27、1月末)
区市町村による健康づくり	1歳6か月児及び3歳児歯科健康診査実施区市町村数	62	62	1.6歳児、3歳児歯科健康診査結果(H25)
	フッ化物洗口推進事業実施区市町村数(幼児対象)*	3	3	区市町村における歯科保健医療事業に関する調査
	食育及び嚙ミグ30を推進する区市町村数	20	32	
	フッ化物洗口推進事業実施区市町村数(児童対象)*	3	2	
	糖尿病及び喫煙と歯周病の関連を普及啓発する区市町村数	26	35	
	歯周疾患検診実施区市町村数	48	50	健康増進事業実績(H25)
	口腔ケアによる誤嚥性肺炎予防を普及啓発する区市町村数	29	42	区市町村における歯科保健医療事業に関する調査
	摂食・嚥下機能支援事業実施区市町村数	1	7	医療保健政策区市町村包括補助事業実績

*フッ化物洗口推進事業は区市町村包括補助事業のため、現状(平成26年度)は継続して独自で事業化しているものも含む。